

(重要)

2015年11月6日

卒業論文等提出予定の皆さんへ

副学長（教学担当）
中 裕史

卒業論文の提出・受理手続きについて（注意）

南山大学には、卒業論文の提出・受理手続きについて、「事情の如何を問わず、提出期限に遅れた卒業論文は受け付けない」という、開学以来60年以上にわたって遵守されてきた規則があります。卒業論文に準じるリサーチペーパー等についても、この規則が適用されています。卒業論文等の提出が締め切りに間に合わなければ、演習や卒業論文の成績には「X」評価が付されます。なお、その科目が必修科目であれば、教務課・第2課教務係窓口で受理されなかった学生はその時点で卒業不可となります。最近はとくに、パソコンやプリンターのトラブル、病気等により提出期限に間に合わず、演習や卒業論文の成績に「X」評価が付され、留年が確定してしまうケースが見られます。

大学としては、今後とも、提出論文の体裁や提出期限などの形式的要件について厳正に対処していく方針ですので、学生のみなさんには、計画的に卒業論文等の作成に取り組み、このようなトラブルのないよう十分にご注意願います。

教務課・第2課教務係窓口での卒業論文の受理は、単に論文を受け取ったことを証明するものにすぎず、決して卒業論文の合格を約束するものではありません。卒業論文の合否は、担当教員や学科による論文審査を経てはじめて決定されます。毎年、未完成の卒業論文を提出した学生が、内容不十分を理由に「F」評価を受けるケースがあります。この点についても、誤解のないよう、注意を喚起しておきます。

以上